

2009年 3月定例会

◆日時:2009年3月21日(土) 14時~16時

◆内容:2月22日の一日セミナーについて報告 反省
久しぶりです!佐々木さんが差し入れを持って来てくれました。
連休の中で忙しかったのでしょうか。参加者が少なくて残念でした。

2009年3月21日



A 分科会:「楽しく、使える!教材・教具の作り方
特別支援の先生・保健師さんの参加が多かったです。
佐世保市では、市民講座で市民ボランティアを育て、
佐世保市の幼稚園・保育所に出前講座をしているそう
です。また、大村市では、中学校対象の保健師・助産
師の出前授業が、今年度から小学校も対象になったと
のことです。

温かみのある手作りの教材を囲みながら、養護学校や
保健師さんの地域での取り組みや悩みなど出され、ネ
ットワークの大切さを再確認しました。まず、私たち性

教協会員からつながりあいましょう。



B 分科会:「クリニックの現場から大学生とともに作る性の健康支援」医
師・看護師・助産師など医療従事者が多い分科会でした。

安日泰子さんは1990年長崎性教協発足当初より係わってくださって
います。それから1994年から長崎大学全学教育「性と生」開講。2000年
「からだ探検隊」開始。全国性教育研究大会を長崎で実施 2003年に
「やすひクリニック」開業 2005年「Y-Yピアルーム」開始 そんな経歴か
ら子供たちだけでなく、若者や中
高年にも頼りになる存在です。
今年の全国セミナーで報告いたし

ます。皆さん応援に行きませんか?

C 分科会:「参加型プログラムのいろいろ」初めて参加した
という人が多い分科会でした。保健師さんが多かったです。

自己肯定感を高めるプログラムをいくつか体験しました。

遠いところは山口県から5時30分出発してこられた方、助
産師の方は深夜 出産のお仕事をされて遅れながらも駆け
つけていただいた方など・・・大変 な中、参加していただきま
した。皆さん充実した学習ができた后感想をよせてくださいました。



会員の皆様には後日、会報とともに「分科会報告」「講演会レジュメ」を送ります。楽しみに!